



5年ぶりに学内で開催の星薬科大学企業説明会に参加



自衛隊東京地方協力本部五反田募集案内所（所長 野澤2陸尉）は2月18日、品川区に所在する星薬科大学で開催された「学内企業説明会」において、同大学卒業生（補給統制本部 土井1陸尉）の薬剤官リクルータ支援を受けて募集・広報活動を実施した。

星薬科大学は、創学110年を超える伝統を有し、薬剤師はもとより、教員や研究者、政策官僚、起業家など多様な分野で活躍する人材を育成しており、本説明会は同大学4年生及び5年生を対象に、4日間を午前・午後の部に分けて合計139もの企業や自治体等が参加して行われた。

リクルータは自衛隊の概要や自身の経験を踏まえた自衛隊薬剤官のキャリアパスについて丁寧に説明し、同大学卒業生の強みを生かして学校のあるやユーモアを交えた軽快なトークで場を和ませつつ聴講者の関心を引き寄せた。また、今年は5年ぶりに対面形式で開催されたこともあり、会場内は説明する側と聴講する学生側双方の熱意を肌で感じられる雰囲気は終始包まれていた。

聴講した学生からは「今回の説明会で自衛隊に薬剤関係の仕事があるのを初めて知って興味を沸いた」、「薬剤官の存在は知っていたが自衛隊から直接話を聞けてとても参考になった」などの感想が聞かれ、自衛隊薬剤官に対する関心の高さが伺えた。

五反田募集案内所は、今後も対象者に寄り添った募集・広報活動を学校関係者及び部隊等と連携しながら実施し、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

東京国際大学で合同企業説明会



自衛隊東京地方協力本部豊島出張所（所長 井上3陸佐）は2月22日、豊島区に所在する東京国際大学池袋キャンパスで実施された合同企業説明会に参加した。

説明会へは3年生約200名が参加し、まず合同説明会の場で参加者全員に各社1分間のフリーフィングを実施した後、各ブースに分かれて個別説明会へと移行した。

自衛隊ブースに訪れた学生に自衛隊のイメージを確認すると「365日24時間ほしく訓練？」や「体力ないと厳しい？」といった、誤解の声が聞かれたことから、正しい自衛隊の姿を理解していただくことを重視して説明を行った。

学生の一人は自衛隊ブースを選んだ理由について「今日まで自衛隊に対する興味は全くありませんでしたが、1分間フリーフィングで『防衛省自衛隊は、平和を仕事にします。国民の皆様ありがとうございます』とあっていただけの仕事です。」との一言を聞き、元々人の役に立つ仕事に就きたいと思っていたので、まずは話を聞こうと思っ参加しました。」と語ってくれた。

豊島出張所は、今後も各大学・高校・専門学校の説明会等に積極的に参加するとともに、正しい自衛隊の姿を伝えることに全力を尽くし、更なる募集・広報に取り組んでいくとしている。